

都 筑 区 移 動 情報センター 通信 VOL.4

発 行：横浜市都筑区社会福祉協議会
都筑区移動情報センター
都筑区荏田東 4-10-3
電話 045-943-4059
FAX 045-943-1863
発行日：令和 2年 1月 4日

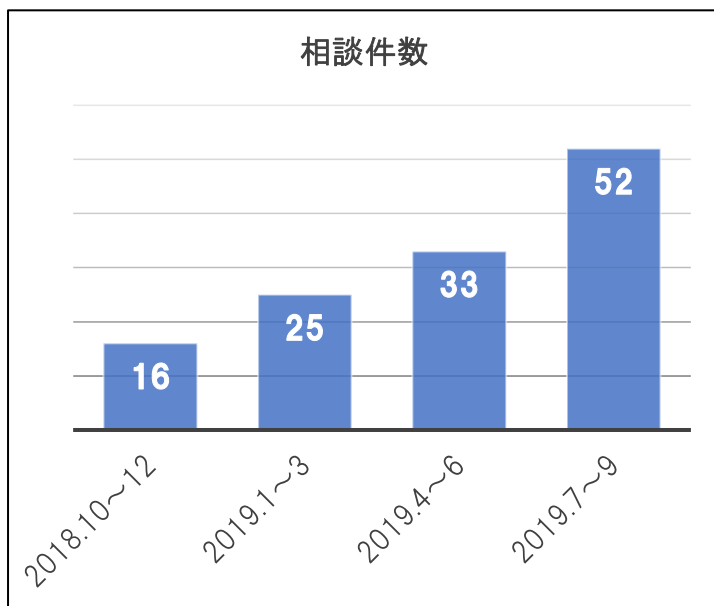
『移動情報センター』は、

障害があって移動に支援を必要とする方の相談窓口です。

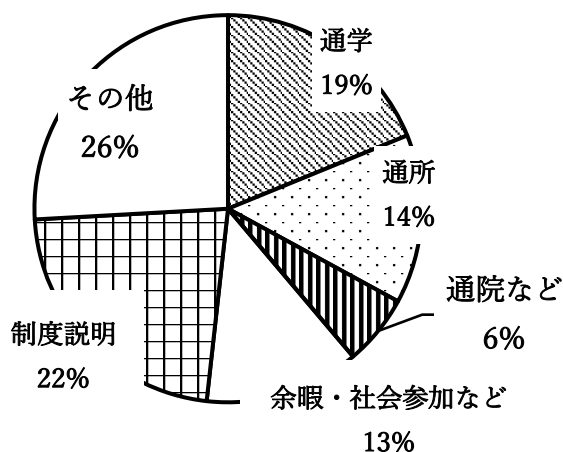
知的障害、精神障害、身体障害などのある方からのご相談に対し、

サービス事業所や地域のボランティアなどの紹介・コーディネートを行っています。

相談件数



2019.4~9月 相談内容



相談件数はこの1年間で3倍以上になっています。

今年度上半期では、通学・通所のための移動についての相談が全体の3割となっています。

**移動支援の担い手はまだまだ不足しています！
ガイドヘルパー・ガイドボランティアとして活動してみませんか？**

「ガイドヘルパー」と「ガイドボランティア」の違い

「ガイドヘルパー」

障害のある方の外出を支援する職業です。

介護福祉士・ホームヘルパー2級等の資格取得者、または都道府県認定のガイドヘルパー養成研修を修了している、などの要件を満たした方が、移動介護事業所と雇用契約を結んだうえで仕事として移動を支援します。

※ガイドヘルパー養成研修の開催予定は、神奈川県のHPでご覧いただけます。

※養成研修の受講にあたっては、横浜市から受講料の助成があります(上限2万円、要件あり)

「ガイドボランティア」

一般市民が障害のある方の外出に付き添うボランティア活動で、専門資格等は必要ありません。

「できる範囲で、できることを」と、多くの方が通学・通所・余暇などの外出支援にご協力いただいています。

※登録は随時受付しております。

※登録の上所定の活動報告書をご提出いただくと、1回につき原則500円の「奨励金」が横浜市から支払われます。

私のガイドボランティアいきいき体験談



▲Nさん付添の様子(右が中嶋さん)
終始笑顔が絶えず、仲良しコンビです。

【嬉しいこと】

3か月、半年と続けていくうちに、信頼関係ができてきたのが分かるのが嬉しいです。
言葉だけでなく、表情や動作などさまざまなことでコミュニケーションをはかっています。

今回は、知的障害のある方の付添をしている中嶋さんにお話を伺いました。

【現在の活動】

- ・知的障害のある方3人を対象に、それぞれ登校・下校・施設から自宅へ帰るときの付添いなどを行っています。
- ・ガイドボランティアを始めて3年半ほどになります。

【始めたきっかけ】

- ・定年退職後、回覧板で障害者のイベントを知り、ボランティアとして参加しました。
- ・いろいろなイベントなどに参加し、障害のある人との交流に慣れて来た頃、区社協から外出付き添いボランティアの依頼があり、やってみることにしました。



ゆいピー

「やりがいはい？」とお聞きしたところ、「朝起きて、行く場所があることです」と話してくれた中嶋さん。

Nさんのお母様からも、「中嶋さんと一緒に下校する日を本人も楽しみにしているようです。このように応援してくれる人がいることは、家族としてもとても心強いし、本当にありがたく思います」とのお話をいただきました！

ガイドボランティアをやってみたい！でもちょっと不安、という方は

障害のある人を支援するボランティア講座 【知的障害編】

知的障害の特性や支援のポイントについて学ぶとともに、障害のあるご本人や、ボランティア経験者のお話をお聞きます。「まずはお話だけ聞いてみたい」という方も大歓迎です！

ふるってご参加ください♪

日 時：2月4日（火）10:00～12:00 定員20名程度

会 場：横浜市中川地域ケアプラザ（都筑区中川 1-1-1 市営地下鉄ブルーライン「中川」より徒歩1分）

内 容：知的障害について知ろう／当事者のお話を聞いてみよう／ボランティア体験談 他

申 込：電話・FAX・E-mail (info@tuzuki-shakyo.jp) 等にて

①お名前②年代③連絡先④在住区 をお知らせ下さい。

定員を超えた場合は抽選の上、落選者のみご連絡いたします。

